

亀岡駅北開発は、家族の安全より優先ですか？
プロサッカーチームのために巨額の税金をつぎ込む
亀岡スタジアムは、市民生活より優先なのではないでしょうか？
あなたも、もう一度、一緒に考えてみませんか？

亀岡駅北開発・スタジアム関連 裁判報告会

どなたでも参加いただけます

<http://ekikita.org/>

水害拡大を防ぐ！アユモドキも守る！スタジアムはいりません！

日時：2018年10月14日(日) 午後3時～午後5時

場所：ガレリアかめおか 2階研修室

1. 基調講演 「亀岡駅北開発関連訴訟について」～裁判の目的と訴訟までの経緯～ 高向 吉朗
2. 裁判の説明 「駅北訴訟の経過報告と今後の展開」 亀岡駅北開発関連訴訟弁護団
3. 亀岡駅北開発・スタジアム関連訴訟を支える会 総会 / 質疑応答・意見交換

主催：亀岡駅北開発・スタジアム関連訴訟を支える会 / 亀岡駅北開発関連訴訟弁護団 後援：京都・丹波 / 亀岡 市民まちづくり風の会 | 暮らしを見つめる会 | 亀岡のおいしい水を守る会 | エコみらいママの会

亀岡駅北の開発を止める

亀岡駅北開発・スタジアム関連訴訟の裁判はまもなく19回目を迎えます。

亀岡市は、10年に一度の確率で起きる大雨に対応できる工事が完了したという理由で、駅北を盛土して開発（区画整理）することを認めてしまいました。



2013年水害-現スタジアム敷地付近



しかし、今は5年前の台風18号をはじめ、100年に一度の大雨を超えるような豪雨災害が各地で度々起こっています。駅北を埋め立てれば、豪雨の時に浸水被害がまわりに拡大してしまいます。

このため、住民153名（原告）は、亀岡駅北開発の認可取り消しを求めて2014（平成26）年12月、京都弁護士会所属の弁護士13名による亀岡駅北開発問題弁護団と共に裁判をおこしました。

ご存知ですか？

今年5月、新たに制定された法律により京都府が公開した、新しいハザードマップ作成の元になる「洪水浸水想定区域図」に、亀岡市を含む桂川流域だけが抜けています。情報公開請求すると、「府民が混乱する恐れがある」として、マップのところが白抜の書類が出てきました。しかし、百数十億円もかけて建設中のスタジアムが、実は完全に水没してしまう恐れがあることが府民に知られば、**混乱するのは府民ではなく府の方**でしょう。住民の命を軽視して工事を推し進めるならば、もはやそれは行政の姿ではありません。



ご存知ですか？

いま、2つの裁判が同時に進行しています。

スタジアムの建設を止める

京都府と亀岡市は、現在J2リーグ残留も危ぶまれるプロサッカーチームのために、あまりにも多くの税金を使ってスタジアム建設を強引に推し進めています。

昨年9月、100名余りの市民

（原告）が、スタジアムへの無駄な支出をやめるよう求めて京都府と亀岡市を提訴しました。

亀岡市は、スタジアムの用地を14億円で購入後、アユモドキを保全できるという結論が出せないと言って、さらに20億円かけて区画整理事業地内に建設用地を購入し、京都府に無償提供しました。「計り知れない経済効果がある」と言っていたのに、費用対効果の計算はしていません。



また京都府は、費用対効果の計算をしていますが、年間入場者数や事業収入などの数字を、とても大きく見積もることで、事業評価基準をクリアしたとしていることや、交通渋滞損失や水害からの復旧費などを計算に入れていないことなど、多くの問題があります。

スタジアムを民間企業に経営委託するための検討報告書には、天然芝のために年間約60日しか使えない上、コンサートなどのイベント使用は住宅地への騒音問題があるため難しいとか、駐車場問題を懸念するといった、参入を検討する企業の否定的な意見が数多く書かれています。**丁寧な議論や住民合意**をおろそかにしてきた府・市のずさんな事業姿勢がこれから裁判で厳しく問われることとなります。

